

2017年6月20日

報道関係各位

公益社団法人 日本脳卒中協会
サノフィ株式会社

脳卒中克服の推進活動への貢献を称える 平成29年度 日本脳卒中協会「サノフィ賞」受賞者決定 ～「啓発部門」で1団体、「社会参加支援部門」で1名を表彰～

公益社団法人 日本脳卒中協会(所在地:大阪市阿倍野区、理事長:峰松一夫、以下「日本脳卒中協会」と)とサノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:ジャック・ナトン、以下「サノフィ」)は、本年6月17日(土)、梅田スカイビル(大阪府大阪市北区)で開催された同協会社員総会において、平成29年度日本脳卒中協会「サノフィ賞」受賞者の発表と表彰式を行いました。

日本脳卒中協会「サノフィ賞」は、脳卒中患者・家族に対する教育・訓練・社会参加への支援活動を促進するための活動に貢献した個人あるいは団体を選定し顕彰することを目的に、平成22年(2010年)に創設されました。平成29年度 日本脳卒中協会「サノフィ賞」の受賞者は、以下の1団体と個人です。受賞者には賞状と盾、副賞として賞金(各25万円)が贈呈されました。

- 啓発部門 泉州脳卒中予防チーム「備長炭」
- 社会参加支援部門 沼尾 ひろ子 (ぬまお・ひろこ)様

泉州脳卒中予防チーム「備長炭」は、保健所が中心となって行政と医師会が連携体制を構築し、保健と医療の多職種連携事業を展開されたこと、そして、同事業が日本全国に拡げられるモデルとなることが評価されました。沼尾ひろ子様は、ご自身の体験に基づく失語症患者への支援活動と啓発活動に加えて、世界脳卒中機構(World Stroke Organization)の“アイ・アム・ウーマン”キャンペーンにご協力くださった点も評価されました。



6月17日 日本脳卒中協会「サノフィ賞」表彰式にて

(前列左から)

日本脳卒中協会 理事長 峰松 一夫

泉州脳卒中予防チーム「備長炭」 新山 一秀 様、
沼尾 ひろ子 様、家宮 久雄 様、渡 弘美 様、

(後列左から)

泉州脳卒中予防チーム「備長炭」 南 由美 様、中 由美 様、
大屋 明子様、赤坂 和子 様、田平 昌代 様、竹中 宏子 様

サノフィ ジェネラルメディクスビジネスユニット営業本部

営業本部長 宮越 和彦

平成 28 年度 日本脳卒中協会「サノフィ賞」受賞者および受賞理由

部門	受賞団体	受賞理由
啓発部門	泉州脳卒中予防チーム「備長炭」	<p>泉州脳卒中予防チーム「備長炭」は、大阪府泉佐野保健所、泉佐野市、熊取町、田尻町、泉南市、阪南市、岬町、一般社団法人泉佐野泉南医師会から成るチームで、心房細動患者を早期発見し、適切な脳梗塞予防に繋げることを目的に、国保特定健診による心房細動のスクリーニング（心電図検査や脈拍不整のチェック）、抗凝固療法が可能な医療機関リストの作成と心房細動疑い患者への受診勧奨、地域住民を対象とする講演会の開催、多職種の在宅医療関係者を対象とする研修会の開催を行っています。</p> <p>選考委員会では、保健所が中心となって行政と医師会が連携体制を構築し、保健と医療の多職種連携事業を展開されたこと、そして、この事業が日本全国に広げられるモデルとなることが評価されました。</p>
社会参加支援部門	沼尾 ひろ子（ぬまお・ひろこ）様	<p>沼尾ひろ子様は、ご自身が脳梗塞を発症して失語症になり、その後社会復帰された経験に基づいて、2008年に「脳梗塞患者と家族のための精神的自立支援の会」を、2014年に「NPO法人脳梗塞患者と失語症者の自立支援の会」を設立し、失語症者の社会復帰を支援する活動を行ってこられました。また、アナウンサー／ナレーターという職業を活かして、テレビ、ラジオ、新聞等のメディア出演や講演を通じて、脳梗塞の予防と失語症についての啓発活動もされています。</p> <p>選考委員会では、ご自身の体験に基づく失語症患者への支援活動と啓発活動に加えて、世界脳卒中機構 (World Stroke Organization) の“アイ・アム・ウーマン”キャンペーンにご協力くださった点も評価されました。</p>

日本脳卒中協会は、これまでに脳卒中撲滅のため、脳卒中予防に関する正しい知識の普及や最適な治療を受けられるための情報提供、患者さんやご家族の脳卒中に関する理解向上と QOL 改善のため、幅広く活動を行ってきました。

日本脳卒中協会ならびにサノフィは、日本脳卒中協会「サノフィ賞」を通じて脳卒中克服へ向けた取り組みを顕彰することで、再発を防いで社会復帰を促進することを願い、今後もさらに脳卒中撲滅に貢献するため、ともに努力を続けてまいります。

以上

公益社団法人 日本脳卒中協会について

脳卒中に関する正しい知識の普及および社会啓発による予防の推進ならびに脳卒中患者の自立と社会参加の促進を図り、国民の保健、福祉の向上に寄与することを目的とし、平成 9 年 3 月に任意団体として設立され、平成 17 年 3 月に社団法人として認可後、平成 24 年 10 月 1 日に公益社団法人に移行しました。平成 29 年 6 月現在、46 都道府県に 48 の支部があり、脳卒中を発症した患者さんやご家族を始め、医療従事者、行政・福祉関係者、一般の方々への情報提供や調査研究活動などを行っています。日本脳卒中協会に関する詳細は、ホームページ(<http://jsa-web.org>)をご参照ください。

サノフィについて

サノフィは、グローバルヘルスケアリーダーとして、患者さんのニーズにフォーカスした医療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。5 つのグローバルビジネスユニット(糖尿病および循環器、ジェネラルメディスンおよび新興市場、サノフィジェンザイム、サノフィパスツール、コンシューマー・ヘルスケア)で組織され、パリ(EURONEXT:[SAN](#))およびニューヨーク(NYSE:[SNY](#))に上場しています。日本においては、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」というビジョンの実現に向けて、患者中心志向に基づき、医薬品等の開発・製造・販売を行っています。詳細は <http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。